

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和4年7月5日（火）
10：40～12：15
場 所 飯南町立頓原小学校理科室
指導者 埋蔵文化財調査センター職員
頓原小学校教諭

1 主題 銅鏡作り体験と飯南町の歴史

2 ねらい

- ・銅鏡作り体験を通じて、古代の人々の生活や文化への理解を深める。
- ・身近な飯南町にも古代から続く歴史があることを知り、歴史学習に対する学習意欲を高めるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

3 展開

時刻	児童の学習内容（指導者）	教師の支援等	準備物
10:40	はじめの会（担任） ・講師紹介 ・オリエンテーション	・講師の方の紹介をする ・学習内容やねらいを説明する。	【学校】 ・電子黒板 ・延長コード ・カメラ ・パソコン ・コンロ（6個）
10:45	鏡の説明を受け鏡の制作をする。 （講師）	・社会科で学習したことを思い出すよう促し、活動に関心をもてるように声をかける。	【埋蔵センター】 ・金属鏡製作キット ・パワポデータ資料（USB） ・活動説明資料 ・遺物（飯南町出土品） ・鏡（さわれるもの） ・ゴム手袋
11:15	休憩		
11:20	地域の歴史を知る。（講師） 縄文土器を観察する。（講師）	・関心をもって飯南町の歴史の説明を聞いたり、土器を観察したりできるように声をかける。	
11:35	鏡製作の続きをする。（講師）		
12:10	おわりの会（担任） ・質問、感想 ・講師の先生のお話 ・児童代表あいさつ		